

近代美術館老朽化対策工事の変更契約締結について

近代美術館では、令和3年度早期の再開館に向け、今年度、以下の老朽化対策工事を実施しているが、7月の降雨により、エントランスロビー等において、新たに雨漏りの被害が確認された。

4年ぶりとなる再開館後に、雨漏れにより再び休館する事態は避ける必要があり、また、現契約で実施することとしている展示室の屋根の改修工事と合わせて、エントランスロビー等についても一体で改修する方が、別途施工するより経済的であることから、変更契約を締結し、追加施工する。

<老朽化対策の概要>

展示室内装改修、レファレンスその他内装改修、屋根改修(展示室)、設備改修、便所等改修
(既決予算額) 1,114,500千円(令和元年度繰越明許費)
(現契約額) 998,811千円(建築・機械・電気の全体)

<変更契約の概要>

- (1) 工事名 近代美術館改修工事
(2) 変更理由 エントランスロビー等の屋根改修工事の追加
(3) 工期 令和2年3月6日～令和3年3月26日
(4) 契約金額 変更前：498,190,000円
変更後：602,899,000円

※ 増額分は、既決予算の範囲内で対応

- (5) 契約の相手方 高島市今津町今津1756番地1
杉橋建設株式会社
代表取締役 杉橋 真和

<工事箇所図>

